

## 令和6年度の重点課題

- ・児童アンケートの結果から、外遊びに消極的な児童が全校児童のうち、3割程度見られるため、外遊びの楽しさを感じることのできる取組を行う必要がある。
- ・新体力テストの結果、「握力」、「長座体前屈」、「50m走」に課題が見られた。
- ・体育科において、運動量が確保できていなかったり、運動の楽しさを感じることができていない児童がいたりする。
- ・習い事やメディア依存などにより、家庭での運動の機会が確保できていなかったり、生活リズムが乱れていたりする児童が見られる。

## 上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 「ロング昼休憩」や運動委員会主催のイベントを継続して行い、楽しみながら運動する時間を設けた。
- 走り方教室やアクティブチャイルドプログラム教室等、子供たちが楽しく運動に親しめる機会を設けた。
- 体育科の授業において、単元の運動特性に合った準備運動を行った。
- 校内研修等を通して、体育科の授業改善に取り組んだ。
- 規則正しい生活により心身の健全な発達を目指して、「ゼロの日」「ストップ9」等のノーマディアで過ごす日を設定した。

## 令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	14.72	18.49	33.39	44.26	56.46	9.25	153.61	22.07	53.69	第5学年	14.83	18.69	39.18	44.90	46.97	9.67	147.92	13.86	56.39

県平均値かつ全国平均値未満

## 令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	14.72	18.49	33.39	44.26	56.46	9.25	153.61	22.07	53.69	第5学年	14.83	18.69	39.18	44.90	46.97	9.67	147.92	13.86	56.39

県平均値かつ全国平均値未満

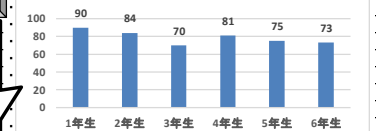
## 運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	76.74	11.63	6.98	4.65	第5学年	62.50	20.00	12.50	5.00

## 学校独自の意識調査

○積極的に外で遊んでいますか？  
 〈学校全体〉  
 肯定的回答 79%  
 否定的回答 21%

積極的に外で遊んでいる



## 重点課題

## 情意面での課題

○男子  
運動やスポーツをすることがやや嫌い、嫌いと答える児童の割合が11.63%である。(前年度比7.19%増加)  
 ○女子  
運動やスポーツをすることがやや嫌い、嫌いと答える児童の割合が17.5%である。(前年度比10.98%増加)  
 ○全体  
学校独自の意識調査「積極的に外で遊んでいますか？」について、肯定的回答が80%を下回っている。

## 体力面での課題

○男子  
「握力」、「上体起こし」が県平均値かつ全国平均値を下回っている。  
 ○女子  
「握力」が県平均値かつ全国平均値を下回っている。  
 ○全体  
「握力」については、男女ともに県平均値かつ全国平均値を下回っている。  
 ○総合評価D及びEの児童の割合が全体で25.8%いる。

## 令和8年度の重点目標値

- 運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが「ややきらい」「きらい」と答える児童の割合を10%以下にする。
- 外遊びを奨励し、学校アンケート「積極的に外で遊んでいる」児童の割合を80%以上にする。
- 「握力」を県平均値かつ全国平均値以上にする。
- 総合評価D及びEの児童の割合を全体の25%未満にする。

## 重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

## 体育の授業で行う取組内容

- 年間を通して、準備運動(10～15分)の中に、単元の特性に合った運動を取り入れる。
- 体育科の授業で、最低20分は運動時間を確保する。
- 運動が苦手な児童も意欲的に取り組めるような運動の場やルール、教材の工夫を行う。

## 体育の授業以外で行う取組内容

- 運動委員を中心に、運動が苦手な子でも楽しめるイベントを継続的に行う。
- 校内研修等を通して、体育科の授業改善に取り組む。
- ロング昼休憩などを通して、積極的に外で遊ぶような場を設定する。
- 運動にかかわる外部講師や地域の人材を招へいすることで、運動に楽しくかわることができるようにする。